

邱學瑾 教授

■學歷

1. 日本廣島大學 教育學研究科 博士 (日語教育學領域)
2. 日本廣島大學 教育學研究科 碩士 (幼兒學領域)
3. 淡江大學 日本語文學系 學士

■主要經歷

1. 臺中科技大學 應用日語系 教授 (2013/2/1~迄今)
2. 教育部 教學實踐研究計畫 社會(含法政)學門召集人 (2019/3~2021/7)
3. 教育部《教學實踐研究》期刊諮詢委員會委員 (2019~2021/7)
4. 臺中科技大學 語文學院 院長 (2015/8/1~2021/7)
5. 教育部 教學實踐研究計畫 社會(含法政)學門副召集人 (2017/8~2019/3)
6. 臺中技術學院 應用日語系 系主任(2004/8/1~2007/7/31)

■專長

語言習得、日語教育、認知・語言心理學

■教授課程

日文導讀與討論、日文習作、研究方法、日語語法、日語聽講、第二語言習得、專題製作等

■期刊編審

[國外]

《編輯委員》

1. 《第二言語としての日本語の習得研究》(Acquisition of Japanese as a Second Language) ISSN:1343-1161, 日本第二言語習得研究会(Japanese Association of Second Language Acquisition)
2. 《留學生教育》(International Student Education) ISSN:1345-2398, 日本留學生教育学会(Japan Association for International Student Education)

《論文審查》

1. 《日本語教育》(Journal of Japanese Language Teaching) ISSN:0389-4037, 日本公益社団法人日本語教育学会(The Society for Teaching Japanese as a Foreign Language)
2. 《第二言語としての日本語の習得研究》(Acquisition of Japanese as a Second Language) ISSN:1343-1161, 日本第二言語習得研究会(Japanese Association of Second Language Acquisition)
3. 《留學生教育》(International Student Education) ISSN:1345-2398, 日本留學生教育学会(Japan Association for International Student Education)

[國內]

《主編》

1. 《應用語文學報》(Journal of Applied Languages) ISSN: 2312-0126, 臺中科技大學語文學院(College of Languages, National Taichung University of Science and

Technology)

《編輯委員》

1. 《中科技大學報》(Journal of National Taichung University of Science and Technology)
ISSN: 2411-4197, 臺中科技大學(National Taichung University of Science and Technology) 1

[其他]

1. 國內學報論文審查
2. 教育部及各大專院校教師升等著作審查
3. 科技部等專題計畫審查

■榮譽

1. 107年度研究計畫及產學合作獎
2. 106年度研究計畫及產學合作獎
3. 105年度研究計畫及產學合作獎
4. 日本國立國語研究所訪問學者(2009/10/1~2010/9/30)
5. 日本博報兒童教育振興會 第4屆日本語海外研究者
6. 101年度教師學術研究及產學合作獎(學術期刊論文成果優良)
7. 100 學年度績優導師

■著作

【專書】

1. 邱學瑾 2019年6月1日「台湾の大学での日本語教育—職場での即戦力が育つ授業に取り組もう—」広島大学大学院教育学研究科編『日本語教育へのいざない—「日本語を教える」ということ—』凡人社 ISBN978-4-89358-961-3
2. 邱學瑾 2012年8月『日本語漢字語彙の聴覚的理解に及ぼす母語の影響—台湾人日本語学習者を対象に—』尚昂文化 ISBN 978-986-6020-17-9
3. 邱學瑾 2007年2月17日「中国語の漢字知識は日本語の学習に役立つか?—台湾人日本語学習者の場合—」水町伊佐男(編)『知ってワクワク—ことばの学び ことばの仕組み』pp. 72-79. 凡人社 ISBN978-4-89358-636-0
4. 松見法男・邱學瑾・桑原陽子 2006年9月15日「語彙の習得」縫部義憲(監修)迫田久美子(編集)『座・日本語教育学 第3巻 言語学習の心理』pp. 161-183. スリーエーネットワーク ISBN4 -88319-350-0 0081C978-4-

【期刊論文】

1. 邱學瑾 2014年3月「從日語跟述練習的語料分析漢字語詞的音訊處理—以中日兩語言間的同根詞及非同根詞的觀點探討—」『臺中科技大學應用語文學報』1, pp. 89-102. ISSN 2312-0126 (本研究為國科會之補助計畫案: NSC 101-2410-H-025-025)
2. 邱學瑾 2013年3月「日本語音声処理力の向上に及ぼす練習法と作動記憶容量の影響」『Japanese Studies Journal』29(2), pp. 1-11. ISSN: 0125-6416 (本研究為日本學術振興會科学研究費補助金之補助計畫案: 基盤研究(B) 課題番号 21402007「海外日本語学習者への運用力養成のためのシャドウイング研究—「できる」への実践—」代表者: 迫田久美子)
3. 邱學瑾 2012年10月「台湾人日本語学習者の日本語音声単語の認知に及ぼす母語の影響—中日音韻類似性の観点からの検討—」『銘傳日本語教育』15, pp. 21-45. 銘傳大學應用日語系 ISSN 1029-6271 (本研究為日本博報兒童教育振興會之補助計畫案)
4. 邱學瑾 2012年3月「漢字圏日本語学習者における日本語単語の意味処理に及ぼす母語の影響—

- 聴覚呈示の翻訳判断課題による検討— 『教育心理学研究』 第 60 卷第 1 号, pp. 82-91. 日本教育心理学会 ISSN 0021-5015 (SSCI) (本研究為日本博報児童教育振興会之補助計畫案)
5. 邱學瑾 2011年12月「敬語の口頭運用力の向上におけるシャドーイングの練習効果について」『台湾日語教育學報』17 号 pp.188-214. 台湾日語教育学会 ISSN 1993-7423 (THCI) (本研究為日本學術振興会科学研究費補助金之補助計畫案:基盤研究(B)課題番号 21402007「海外日本語學習者への運用力養成のためのシャドーイング研究—「できる」への実践—」代表者: 迫田久美子)
 6. 邱學瑾 2010 年8月「日本語學習者の日本語漢字語彙処理のメカニズム—異言語間の形態・音韻・意味の類似性をめぐって—」『日本語教育』146 号, pp. 49-60. 日本日本語教育学会 ISSN 0389-4037
 7. 玉岡賀津雄・邱學瑾・宮岡弥生・木山幸子 2010年1月「中国語を母語とする日本語學習者によるかき混ぜ語順の文処理—聴解能力で分けた上位・中位・下位グループの比較—」『日本語文法』10 卷1 号 pp. 54-70. 日本日本語文法学会 ISSN 1346-8057
 8. 邱學瑾・松見法男 2007年3月「単語検索後の意味再生に及ぼす表記形態と辞書メディアの効果—台湾人日本語學習者における日本語単語の記憶」『広島大学日本語教育研究』第17 号, pp. 61-65. 広島大学日本語教育学科
 9. 邱學瑾 2003年1月「台湾人日本語學習者の日本語漢字熟語の音韻処理について—単語タイプ・単語の習得年齢・習熟度の観点からの検討—」『日本語教育』第 116 号, pp. 412-420. 日本日本語教育学会
 10. 邱學瑾 2002年 12月「漢字圏・非漢字圏留學生の漢字熟語の処理について—意味判断課題を用いた形態・音韻処理の検討—」『教育心理学研究』 第 50 卷第4号, pp. 412-420. 日本教育心理学会 (SSCI)
 11. 邱學瑾 2002年9月「台湾人日本語學習者における日本語漢字熟語の処理過程—中・日2言語間の同根語と非同根語の比較—」『広島大学大学院教育学研究科紀要 第二部(文化教育開発関連領域)』 第 51 号, pp. 357-365. 広島大学教育学研究科
 12. 邱學瑾 2001年9月「バイリンガルの音韻処理に関する研究の動向—視覚的語彙処理の研究を中心に—」『広島大学大学院教育学研究科紀要 第二部(文化教育開発関連領域)』 第 50 号, pp. 251-258. 広島大学教育学研究科
 13. 福田倫子・邱學瑾・佐藤礼子・松見法男 2001年3月「第2言語としての日本語の文章理解に及ぼす音読時の教示効果」『広島大学日本語教育研究』 第 11 号, pp. 55-60. 広島大学日本語教育学科
 14. 邱學瑾 2000年9月「バイリンガルの視覚的語彙処理に関する研究の展望」『広島大学 教育学部紀要 第二部(文化教育開発関連領域)』 第 49 号, pp. 271-276・広島大学教育学研究科
 15. 松見法男・羽瀧由子・邱學瑾 2000 年9月「第2言語の単語処理における単語の AOA の効果」『広島大学教育学部紀要 第二部(文化教育開発関連領域)』 第 49 号, pp. 163-170. 広島大学教育学研究科

【研討會論文】

1. 邱學瑾 2012年12月「日本語の音声処理に及ぼす作動記憶容量の影響—台湾人日本語學習者を対象に—」『国立臺中科技大学 2012 文化・言語・教学國際學術研討會 論文集』(ISBN 978-986-03-5751-6) pp. 252-263.

【研討會發表】

1. 邱學瑾 2019年11月2日「日本における実習から何を学んだのか」東アジア日本研究者協議会第4回国際学術大会パネルセッション 於 台湾大学
2. 邱學瑾 2015年7月4日「台湾人日本語学習者の縮約形の習得について—口頭データに基づく分析—」2015年度日本語教育学会第4回研究集会於 北海道教育大学（本研究為科技部之補助計畫案：MOST 103-2410-H-025-006-）
3. 邱學瑾 2013年10月13日「日本語学習者における日本語音声の処理単位について—シャドーイングの練習データによる分析—」2013年度日本語教育学会秋季大会 於 関西外国語大学（本研究為國科會之補助計畫案：NSC 101-2410-H-025-025-）
4. 邱學瑾 2012年11月2日「日本語の音声処理に及ぼす作動記憶容量の影響—台湾人日本語学習者を対象に—」国立臺中科技大学 2012文化・言語・教学国際学術研討会 於 台湾臺中科技大学
5. 邱學瑾 2011年7月30日「シャドーイングの練習は敬語の口頭運用力をどのくらい高めるか」2011年度日本語教育学会実践研究フォーラム予稿集 pp. 25-28. 於 横浜国立大学（本研究為日本学術振興会科学研究費補助金之補助計畫案：基盤研究（B）課題番号 21402007「海外日本語学習者への運用力養成のためのシャドーイング研究—「できる」への実践—」代表者：迫田久美子）
6. 邱學瑾 2011年3月5日「中日の音韻類似性は日本語の音声単語の認知に影響するか」台湾日語習得研究国際学術研討会（於東呉大学 LARP at SCU 研究工作坊（五） 論文集 pp. 88-92.（本研究為日本博報児童教育振興会之補助計畫案）
7. 邱學瑾・蔡美月 2010年8月3日「シャドーイング法のメカニズムについて—実験研究の結果に基づいて—」於 2010年台中技術學院應用日語系跨國教學研討會（本研究為日本学術振興会科学研究費補助金之補助計畫案：基盤研究（B）課題番号 21402007「海外日本語学習者への運用力養成のためのシャドーイング研究—「できる」への実践—」代表者：迫田久美子）
8. 邱學瑾・蔡美月 2010年8月1日「シャドーイングの効果に関する研究—速聴との比較の観点から」パネルセッション：「国内外の日本語学習者に対する指導法としてのシャドーイング」2010年日本語教育世界大会 於 台湾政治大学（本研究為日本学術振興会科学研究費補助金之補助計畫案：基盤研究（B）課題番号 21402007「海外日本語学習者への運用力養成のためのシャドーイング研究—「できる」への実践—」代表者：迫田久美子）
9. 邱學瑾 2010年7月31日「台湾人日本語学習者の日本語音声単語の認知における母語の役割」2010年日本語教育世界大会 於 台湾政治大学（本研究為日本博報児童教育振興会之補助計畫案）
10. 邱學瑾 2009年3月15日「台湾人日本語学習者の日本語漢字熟語の聴覚的理解について」台湾日語習得研究国際学術研討会東呉大学 LARP at SCU 研究工作坊（三） 論文集 pp. 49-53.
11. 玉岡賀津雄・宮岡弥生・邱學瑾 2007年5月27日「音声提示された正順・かき混ぜ語順の単文理解が長文の聴解に及ぼす影響」2007年度日本語教育学会春季大会 於 桜美林大学
12. 邱學瑾 2006年10月8日「外国語としての日本語漢字熟語の聞き取りに及ぼす第1言語の影響」2006年度日本語教育学会秋季大会 於 熊本県立大学（本研究為國科會之補助計畫案：NSC 93-2411-H-025-005）
13. 邱學瑾 2005年9月11日「第2言語としての日本語聴解に及ぼす第1言語の影響」日本心理学会第69会総会於 慶応義塾大学（本研究為國科會之補助計畫案：NSC 93-2411-H-025-005）
14. 邱學瑾 2004年8月7日「台湾人日本語学習者の漢字熟語の音韻処理に及ぼす中国語の干渉—日

- 本語漢字熟語の形態と音韻の対連合学習課題による検討—」2004年日本語教育国際研究大会 於 昭和女子大学
15. 邱學瑾 2003年8月24日「日本語漢字熟語の音韻処理に及ぼす中国語音の干渉—入門期の台湾人日本語学習者を対象に—」日本教育心理学会第45回総会 於 大阪国際会議場
 16. 邱學瑾 2002年9月27日「第2言語は第1言語の産出に影響するか—台湾人日本語学習者を対象に—」日本心理学会第66回大会 於 広島大学
 17. 邱學瑾 2002年5月26日「台湾人日本語学習者の漢字熟語の音韻処理にみられる単語タイプの効果」2002年度日本語教育学会春季大会 於 お茶の水女子大学
 18. 邱學瑾 2001年11月24日「日本語学習者の漢字熟語の読み上げにみられる単語タイプの効果—漢字圏日本語学習者と非漢字圏日本語学習者との比較—」中国四国心理学会第57回大会 於 安田女子大学
 19. 邱學瑾 2001年10月7日「韓国人日本語学習者と非漢字圏日本語学習者の漢字熟語の処理パターン」2001年度日本語教育学会秋季大会 於 立命館アジア太平洋大学
 20. 邱學瑾 2001年9月9日「台湾人日本語学習者の漢字熟語の処理に及ぼす第1言語の影響」日本教育心理学会第43回総会 於 名古屋国際会議場
 21. 柴崎良典・山崎晃・邱學瑾 2000年11月19日「音声的類似性が幼児の命名に及ぼす影響」中国四国心理学会大56回大会 於 山口大学
 22. 福田倫子・邱學瑾 2000年11月19日「第2言語としての日本語文章理解における音読時の教示効果」中国四国心理学会大56回大会 於 山口大学
 23. 邱學瑾 2000年11月19日「台湾人日本語学習者における日本語漢字熟語の処理について—中・日2言語間の cognate 熟語と non-cognate 熟語の処理パターンの検討—」中国四国心理学会大56回大会 於 山口大学

■競争型計畫案

【跨國研究計畫】

【日本學術振興会 科學研究費補助金研究 1】

計畫名稱：「海外ネットワークによる日本語学習者コーパスの構築と研究」

代表者：迫田久美子

執行期間：2012/4/1～2016/3/31

計畫編號：基盤研究(A) 24251010

【日本學術振興会 科學研究費補助金研究 2】

計畫名稱：海外日本語学習者への運用力養成のためのシャドーイング研究 —「できる」への実践—

代表者：迫田久美子

執行期間：2009/4/1～2012/3/31

計畫編號：基盤研究(B)21402007

【國內計畫案】

【科技部計畫1】

計畫名稱：日語縮約形及語音變化的語音習得

計畫編號：MOST 103-2410-H-025-006-

執行期間：2014/8/1～2015/7/31

【國科會計畫2】

計畫名稱：日語搭配詞組之習得研究:以台灣日語學習者為對象

計畫編號：NSC 102-2410-H-025-007-

執行期間：2013/8/1～2014/7/31

【國科會計畫3】

計畫名稱：從日語跟述的語音資料探討影響台灣日語學習者處理日語語音訊息之要因

計畫編號：NSC 101-2410-H-025-025-

執行期間：2012/8/1～2013/7/31

【國科會計畫4】

計畫名稱：中文漢字知識對日語漢字雙字詞的聽覺理解之影響—以台灣人日語學習者為對象—

計畫編號：NSC93-2411-H-025-005

執行期間：2004/8/1～2005/7/31

【教育部計畫案1】

計畫名稱：108年度學海築夢計畫(日本主題樂園實習成長計畫)

執行期間：2019/7/1～2019/9/3

【教育部計畫案2】

計畫名稱：96年度學海飛颺計畫

執行期間：2007/4/1～2008/3/31

【行政院勞工委員會大專就業學程計畫】

計畫名稱：96年度大專就業學程計畫～多元商務日語人材培訓學程

計畫編號：96B039

執行期間：2007/8/1～2008/7/31

■產學建教合作案

【產學建教合作1】

計畫名稱：國際會展之中英日口筆譯服務與人才培訓

合作單位：洪馬克工作室

計畫編號：106136H

執行期間：2017/12/1～2018/6/30

【產學建教合作2】

計畫名稱：日本安田女子大學海外日語教育實習計畫

合作單位：日本安田女子大學

計畫編號：106017I

執行期間：2017/2/13～2017/3/3

【產學建教合作3】

計畫名稱：協助辦理 2014 年日本留學展台中會場

合作單位：東京都專修學校各種學校協會

計畫編號：103062F

執行期間：2014/7/11～2014/7/31

【產學建教合作4】

計畫名稱：協助辦理 2013 年日本留學展台中會場

合作單位：東京都專修學校各種學校協會

計畫編號：102066H

執行期間：2013/7/11～2013/7/31

【產學建教合作5】

計畫名稱：協助辦理 2012 年日本留學展台中會場

合作單位：東京都專修學校各種學校協會

計畫編號：101065H

執行期間：2012/7/1～2012/7/20